

Drawing No.	REVI	Drawing Name	Sheet
YP1-065-D12-01	—	屋外HDネットワークコンビネーションカメラ施工基準書	—

変更履歴書

変更番号	変更内容	設変番号	変更日
△1	SHEET1～2 機種名 VN-H678WPC 追記 SHEET1 締付トルク 変更 ボックス部ねじ：3.9N・m (40kgf・cm) 以上 →3.4N・m (35kgf・cm) 以上	DP013805	2019.6.1
△2	SHEET2 注意事項 13 追記	DP014982	2020.1.7
△3	SHEET1 安全上のご注意 追記 SHEET2 注意事項 13 に推奨品を追記	DP015623	2021.2.22

Drawing No.	REVI	Drawing Name	Sheet
YP1-065-D12-01	03	屋外HDネットワークコンビネーションカメラ施工基準書	1/2

機種名 VN-H678WPR / VN-H678WPC ▲

表示なき単位：mm

- ※ 回転するので、パン/チルト機構部を持って施工しないこと。
- ※ 電源を入れるとパン/チルト機構部は回転します。

外形寸法図

・ケーブル長：約650 mm

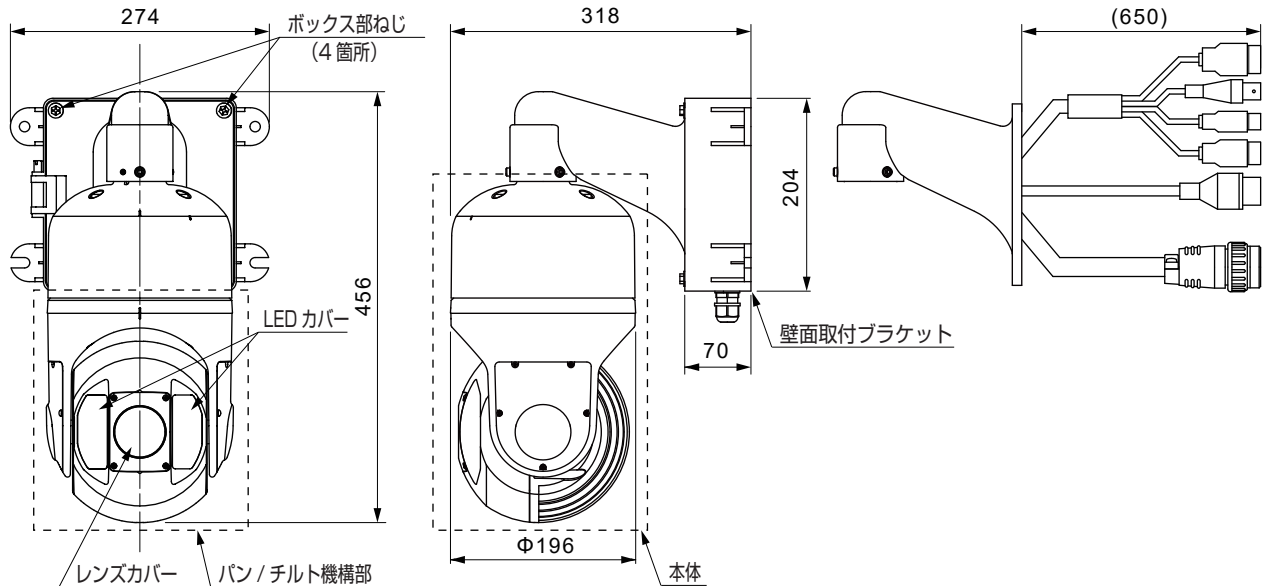


図1 外形寸法図

規格

本機質量	本体：約7.2 kg / 壁面取付ブラケット：約3.0 kg
締付トルク	M10：18.8 N·m(192 kgf·cm)以上
	ボックス部ねじ：3.4 N·m(35 kgf·cm)以上 ▲
取付精度	水平 ± 5°以内

使用材料

(添付されていません)

アンカーボルト	M10 × 35 mm以上 ステンレス製
ナット、ワッシャー	M10 ステンレス製
落下防止ワイヤー	ステンレス製
電源ソケット(メス)	NJC-203-PF(半田タイプ) 七星科学研究所 材質：アルミ合金
AC電源ケーブル	3芯 Φ12 mm 以下 導体面積：0.75~2.0 sq
ケーブルブッシング	CBAS-12-7 七星科学研究所 材質：クロロpreneゴム

▲

安全上のご注意

- AC電源を接続するときは、本機へ供給する電源の分電盤には下記を設置すること。
- ・ 低圧用SPD(避雷器)：クラスII (JIS C 5381-11) 対応
 - ・ 漏電遮断器：高感度形 (定格感度電流30mA以下)

Drawing No.	REVI	Drawing Name	Sheet
YP1-065-D12-01	03	屋外HDネットワークコンビネーションカメラ施工基準書	2/2

機種名 VN-H678WPR / VN-H678WPC 

表示なき単位：mm

- ※ 回転するので、パン / チルト機構部を持って施工しないこと。
- ※ 電源を入れるとパン / チルト機構部は回転します。

施工寸法例

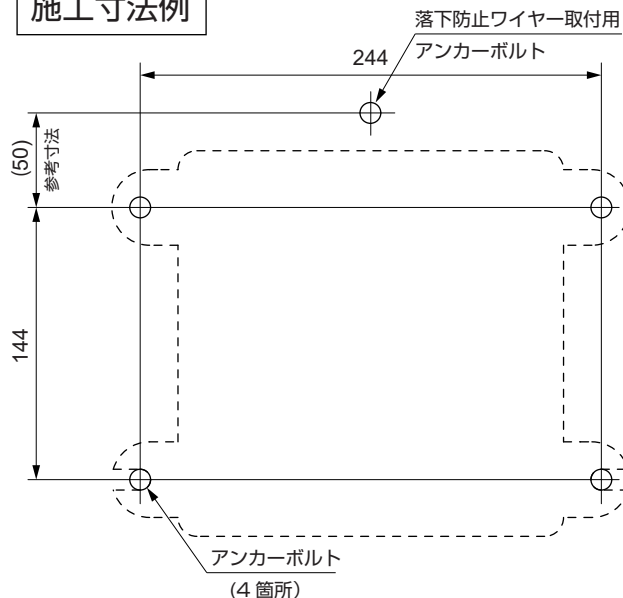




図2 施工寸法図

施工手順

1. カメラ取付用4本と落下防止ワイヤー用1本計5本のアンカーボルト（長さ35 mm以上）を立てる。
2. 本機を取付ける。（詳細は、取扱説明書（設置編）参照。）
3. 落下防止ワイヤーを取付ける。（詳細は、取扱説明書（設置編）参照。）

注意事項

1. 施工面強度は、本機の総質量の10倍以上の強度を確保すること。強度が確保できない場合は、必ず補強を施し、強度を確保すること。
2. 落下防止ワイヤー（付属していません）の材質はステンレス製とし、本機質量に十分耐えられる強度（カシメ、ワイヤーなど）を確保すること。
3. 本機は、許容最大風速60 m/s（非破壊、回転台速度60°/s以下、マニュアル動作推奨。風速40 m/s以下は全動作可能）以下で運用のこと。
4. 壁面取付ブラケットのボックス内は、防水対応ではありません。ケーブル接続部（図3破線部）は、防水テープにて確実に防水処理を施すこと。また、使用しないケーブルも必ず防水処理を施すこと。
5. AC電源使用時、壁面取付ブラケットのボックス内で電源ケーブルを接続する場合は、しきり板の外側に配置し必ず他のケーブルと分離して配線すること。
6. 接続部が雨水にて水浸しないよう考慮すること。ボックス内に雨水の浸入が予想される場合は、水抜き穴のキャップを取外すこと。
7. AC電源使用時、電源ソケット（メス、添付していません）を用意し、予めケーブルを製作すること。電源ケーブル径がΦ12 mm以上の場合、別途中継ボックスなどを使用して接続すること。また電源ケーブルは、必ずアース接続を行うこと。
8. 施工中の落下を防止するため、本機付属の落下防止ワイヤー2本を必ず指定の場所（取扱説明書（設置編）を参照）に取り付けてから配線すること。
9. 感電を防止するため、本機から外した接地（GND）ワイヤーは再度取付けること。
10. 本機は、本書および取扱説明書（設置編）に定められる施工が正しく行われ、適切な防水処理が施された場合にのみ防塵・防水（IP66）性能が維持できます。
11. レンズカバー、LEDカバーはガラス製なので、破損しないように注意すること。
12. レンズカバーのガラス面には触らないこと。レンズカバーのガラス面は、親水コート加工のため傷つき易いので布などで拭かないこと。ガラス面が汚れた場合は、水で洗い流すこと。
-  13. 本機と接続するLANコネクターの寸法は全長24mm以下とすること。（図4参照）LANコネクターの寸法が長くなると、防水用のコネクタカバーが取り付けできません。（推奨LANコネクタ：エレコム LD-6RJ45Tシリーズ（CAT6/CAT6A 対応））（コネクタカバーを使用する場合は、コネクタカバーにLANケーブルを通してから、LANコネクタをかきしめる必要があります。）

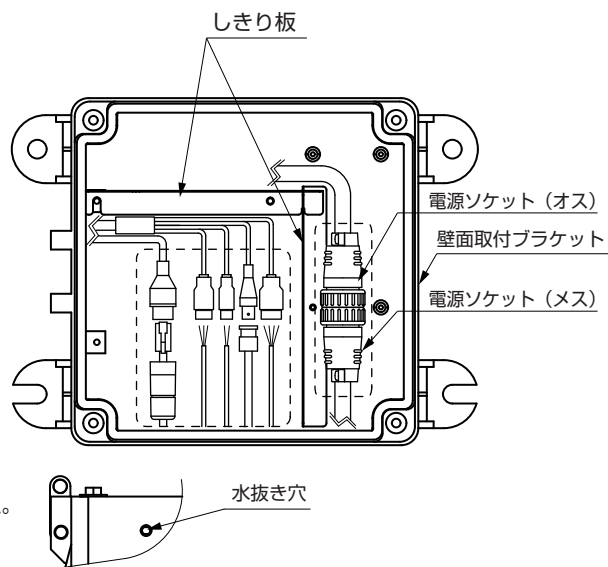


図3 ケーブル結線図

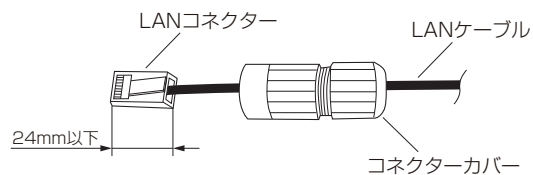


図4 LAN コネクタ寸法